

# Investor's Report

2021年3月期  
2020年4月1日～2021年3月31日

挑  
み  
つづける。

挑みつづける。  
この社会の未来のために。

社会の  
未来



証券コード：7224

## 連結業績ダイジェスト /



- 1 売上高：コロナ禍の影響等により、航空機セグメントを中心に減収。
- 2 利益：減収に伴い、減益。

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
<p>209,226 百万円</p> <p>前期比 7.9% 減 ↓</p> <p>(単位:百万円)</p> <p>227,231 (2020年3月期) 209,226 (2021年3月期) 215,000 (2022年3月期 予想)</p>	<p>10,479 百万円</p> <p>前期比 18.4% 減 ↓</p> <p>(単位:百万円)</p> <p>12,836 (2020年3月期) 10,479 (2021年3月期) 9,000 (2022年3月期 予想)</p>	<p>11,182 百万円</p> <p>前期比 9.6% 減 ↓</p> <p>(単位:百万円)</p> <p>12,375 (2020年3月期) 11,182 (2021年3月期) 9,400 (2022年3月期 予想)</p>	<p>5,487 百万円</p> <p>前期比 25.6% 減 ↓</p> <p>(単位:百万円)</p> <p>7,378 (2020年3月期) 5,487 (2021年3月期) 5,500 (2022年3月期 予想)</p>
<b>2022年3月期通期業績予想</b>			
<p>215,000 百万円</p> <p>前期比 2.8% 増</p>	<p>9,000 百万円</p> <p>前期比 14.1% 減</p>	<p>9,400 百万円</p> <p>前期比 15.9% 減</p>	<p>5,500 百万円</p> <p>前期比 0.2% 増</p>
<p>1株当たり当期純利益</p>		<p>2021年3月期 実績 83円47銭</p>	<p>2022年3月期 予想 83円66銭</p>



# TOP MESSAGE

## 長期志向経営への転換— 「長期ビジョン」を志向した 長期および中期経営計画がスタート

取締役社長 **五十川龍之**

いつも、当社グループをご支援いただき誠にありがとうございます。  
新型コロナウイルスの感染拡大から1年以上が経過したものの、  
いまだ収束の目途は立っておらず、わが国をはじめ世界各国が甚  
大な影響を受けています。この間に逝去された方々のご冥福と罹  
患されている皆さまの回復をお祈りするとともに、日々この病の治  
療にあたっておられる医療従事者の皆さまに対しまして、心から敬  
意を表するとともに、深く感謝申し上げます。

と表記)の最終年度となる2020年度は、その目標達成に向け、国  
内では主に主力製品やサービスの高付加価値化、そして海外では  
新たな生産拠点の設立やM&Aの実施といった成長戦略に注力する  
とともに、並行して生産性の向上や営業強化に取り組んでまいりま  
した。

一方、航空機事業部の民間機部門では、顧客側の生産調整に伴  
い工場を一次休止したほか、新型コロナウイルスの感染拡大防止  
に関する取り組みとして、社員、そしてお取引先さまの安全を第一  
に考えた諸対策を実施するなど、かつて経験したことのない決断や  
取り組みを遂行した1年でもありました。

コロナ禍による事情も影響し、「CFG2020」で掲げた経営指標は、  
残念ながら当初目標には及びませんでした。2020年7月にお示

### コロナ禍の2020年度を振り返って

中期経営計画「Change for Growing, 2020」(以後、「CFG2020」

当社グループは、創業100周年を経て今後も持続的  
成長を続けていくために、「経営理念」を拠り所とし、  
2030年を目標年に置いた将来展望を「長期ビジョン」  
として掲げました。

今後は、その実現に向けて当社グループのありたい  
姿を具体化し、その姿と現状とのギャップをバック  
キャストで埋めていく「長期志向経営」への転換に  
取り組んでまいります。

### 当社グループの長期ビジョン

グローバルな社会ニーズに応え、  
都市・輸送・環境インフラの高度化に貢献する  
価値共創カンパニーを目指します。

## 長期経営計画 「Sustainable Growth with Vision 2030」

### 基本方針

以下2つの経営テーマに並行して取り組み、社会的価値と経済的価値を持続的に創出することで、企業価値を向上する。

- 1 「長期事業戦略」: 「長期ビジョン」に基づき、“ありたい姿”を実現する事業施策を立案・実践
- 2 「経営基盤の強化」: 「サステナビリティ経営」の実践により、長期事業戦略の推進を支えるとともに、SDGsに貢献

### 経営指標と目標水準

経営指標	目標水準
売上高	4,000億円以上
海外売上高	1,000億円以上
ROE	12%以上
ROIC	10%以上

### 目標達成により実現する「ありたい姿」

- グローバルな社会インフラの高度化に貢献 ➡ 収益力と企業好感度が共に向上
- ESG重要課題の解決・改善 ➡ 社会・環境価値の創出、SDGsへの貢献
- 持続的成長に基づく資本構成の最適化 ➡ 株主をはじめとするステークホルダーへの高還元
- 多様な人材育成や働きがいのある職場環境整備 ➡ 社員のエンゲージメント向上

した予想値に対しましては、売上高はほぼ同水準を、営業利益については大幅に上回ることができました。

## 長期経営計画の策定に着手し、 新たな中期経営計画をスタート

この1年に生じた多様な変化や経験は、経営を長期志向へと転換する大きな後押しとなりました。具体的には、1年前にお示した「経営理念」のもと、2030年の当社グループのありたい姿を示した「長期ビジョン」に基づく長期経営計画「Sustainable Growth with Vision 2030」（以後、[SG-Vision 2030]と表記）の策定に着手いたしました。10年に及ぶ長期計画は当社にとって初の取り組みで、いまだ策定途上にあります。一足飛びで達成することは困難と考え、3つの中期経営計画を経て2030年を目指す形式にいたしました。その第一ステップが、今春からスタートした「[SG-Vision 2030] Phase1【転換】」（以後、[SG-2023]と表記）です。文字通り「長期志向経営への転換」を図り、「Phase2【拡大】」につなげる重要な3カ年となります。

[SG-Vision 2030]では、「長期ビジョン」を志向した①長期事業戦略、②経営基盤の強化、これら2つの基本方針に基づき、重要課題や目標、諸施策を設定し、企業グループとして飛躍的な成

長を目指してまいります。その中で、新たに「ROIC（投下資本利益率）\*経営」を導入し、ポートフォリオマネジメントにも取り組んでまいります。

そのPhase1にあたる[SG-2023]では、「CFG2020」で着手した施策を継続するとともに、社内外との共創を重んじて当社グループの新たなビジネスを創出し、SDGsへの貢献範囲を拡大してまいります。なお、コロナ禍の収束時期が見通せない中、前期苦戦した航空機セグメントは、引き続き主力事業である民間機需要が低迷するなど厳しい期間が続く見込みのため、基盤事業のコア技術を生かした新たなビジネスの立案・開発を推進してまいります。その他のセグメントは、売上高、営業利益いずれも「CFG2020」の目標値を上回る水準を目指してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今しばらく新型コロナウイルス感染拡大防止対策の実践が必要な期間が続くと思われませんが、引き続きご自愛のうえお過ごしいただくとともに、このような状況下ではありますが、当社グループに対しまして変わらぬご支援をたまりませんようよろしくお願い申し上げます。

※ROIC…企業が事業活動のために投じた資金を使って、どれだけ利益を生み出したかを示す指標

長期経営計画では、以下3期の中期経営計画の実践を通じて、2030年の目標水準達成を目指してまいります。

長期経営計画	[Sustainable Growth with Vision 2030][SG-Vision2030] ～価値創造による持続的成長～		
	2021～2023年度	2024年度～	～2030年度
中期経営計画	Phase1【転換】	Phase2【拡大】	Phase3【飛躍】

長期志向経営への転換

## 新中期経営計画 | [SG-Vision2030] Phase1【転換】

### 基本方針

- 前中期経営計画「Change for Growing, 2020」諸施策の継続推進による成果の刈り取り
- 長期ビジョンに基づく長期事業戦略の策定と推進
- 経営基盤の強化
  - サステナビリティ経営方針の制定(2021年4月1日付)およびこれらの実践、重要課題(マテリアリティ)管理項目の確定・KPI(2023年度および2030年度の各目標)の設定、長期事業戦略の推進により、SDGsに貢献
  - DX推進のための「ITインフラ」整備、基幹業務の改革
- 将来価値の創出、およびステークホルダーとの成果の共有
  - ROIC経営の実践により、将来価値を持続的に創出する企業体質に転換
  - 利益の一定水準をステークホルダーと共有(配分)

### 目標値 (2024年3月期末)

経営指標	目標水準
売上高	2,500億円
営業利益	150億円
海外売上高	450億円
ROE	10%以上
ROIC	7%以上

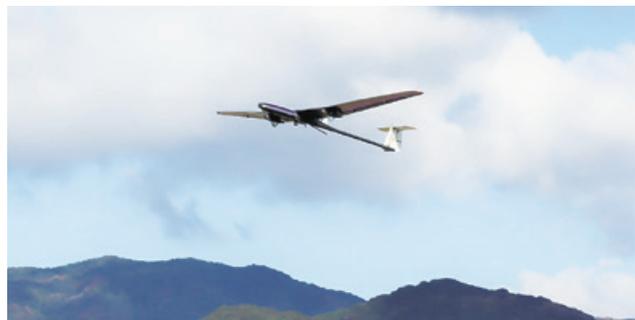
キャッシュ・アロケーション	目標水準
成長投資 (設備投資・M&A)	300～400億円(3年間合計)
配当性向	40～50%
自己株式取得	株価水準等に応じて機動的に実施

# TOPICS

## 固定翼型無人航空機“XU-S” 長時間・長距離飛行に成功



2020年10月、新潟県新潟市において、固定翼型無人航空機“XU-S(Experimental Unmanned / Utility aircraft by ShinMaywa)”の飛行試験を実施し、3時間42分の長時間滞空に加え、135kmの飛行に成功しました。



▲ 固定翼型無人航空機“XU-S”

“XU-S”は、環境に配慮し、排気ガスを生じないリチウムイオンポリマー電池を動力源としながら「長時間滞空能力」に長けていることが特長です。「観測」「監視」「通信」などの幅広い分野で同機の活用を目指し、同年にはさまざまな機関や企業とアライアンスを組んで2件の実証実験に参加するなど、事業化に向けた各種取り組みを進めています。

## 業界初 塵芥車(ごみ収集車)の サブスクリプションサービスを開始



2020年11月、中古特装車の販売等を手掛けるグループ会社の新明和オートセールス株式会社が、業界初となる塵芥車(ごみ収集車)のサブスクリプションサービス「G-SUB(Garbage Truck - Subscription)」の提供を開始しました。

「G-SUB」は、当社製塵芥車(新車)を、毎月定額で2年または3年間利用できるサービスで、定額料金の中には保険費用や税金、架装物の定期メンテナンス費用といったランニングコストも含まれています。2年または3年ごとに新車に乗り換えることで、常に最新装備の車両を利用できる点や、月額料金にメンテナンス費用を含むことで、維持費を予算化できる点、事業環境の変化に対応した最適な台数管理ができる点がお客さまにとって大きなメリットとなります。

今後は、対象商品を拡充するとともに、対象エリア(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)も拡大予定です。

**業界初 新明和の塵芥車のサブスクのしくみ**

車両価格も 税金・保険も 修理費用もコストも 月額定額料金でカバー

車両価格 税金・保険費用 修理費用等のメンテナンス費用

月額定額料金 (税込0円) だけで、新車の塵芥車を2年間利用できる新サービス

**G-SUB 月々の定額料金**

契約期間は2年。契約終了後は「新車に再契約」または、「車両返却で契約終了」となります。  
注)同一車両での再リースはできません。  
契約期間3年のコースを新設。2年コースも、さらにご利用しやすい価格に拡充しました。

## 民生用品・自動車市場向け 新型自動電線処理機(両端端子打機)を開発



2021年4月、当社はワイヤーハーネス(組電線)に使用される電線の測長・切断、端子圧着などの端末加工を高速で行う自動電線処理機の新製品「両端端子打機『TRD602』」の販売を開始しました。

今回開発した「TRD602」は、1時間当たりの電線加工能力を、当社の従来機と比べて10%増の最大5,000本まで高めたほか、家電・AV機器などの“民生用ハーネス”、2輪を含む“車載用ハーネス”など、いずれの業界でも使用可能な高い汎用性を兼ね備えています。

また、習熟度に関係なく操作できるアイコン式画面を採用することで、経験の浅い作業員にも扱いやすい仕様となっており、このほかにも品質および歩留まり率の向上を実現する機能を備えています。



▲ 両端端子打機「TRD602」

## 業界初 冠水対策仕様 多段方式駐車設備の販売を開始



▲ 冠水対策仕様「ループパーク®」(イメージ)

2021年2月、当社は多段方式機械式駐車設備「ループパーク®」のラインアップに、国内初となる、地上2m以上の位置に車両を格納する「冠水対策仕様」を追加し、販売を開始しました。

近年、台風や豪雨による水害や、増水による冠水被害が頻発しており、自然災害における被害を最小限に抑える諸対策が望まれています。今回商品化した「冠水対策仕様」は、出入口独立型の特長を生かし、車両を接地面から2m以上の高さに常時駐車する構造を採用したことで、海拔の低い地域であっても、従来型と比べて冠水被害を回避、あるいは抑制することができます。

さらに、制御盤を高所に移設し、防水性の高い機器を採用するなど各所に冠水対策を施しました。あわせて予備の運転盤を併設したことで、水が引いた後、当社サービス員立ち会いのもと、速やかに出庫できる仕様となっています。

## M&A情報 TurboMAX Co., Ltd. の株式を追加取得(子会社化)

2021年3月、当社が国内における独占販売権を保有している流体製品「空気軸受式可変速単段ターボブロワ®『TurboMAX®』」を製造・販売する韓国企業 TurboMAX Co., Ltd.(ターボマックス社)の発行済株式の追加取得について決定しました。

「TurboMAX®」は、省エネ、省メンテナンス、低騒音性に優れた世界でトップクラスのシェアを誇る製品で、韓国国内のみならず、グローバル市場において同社の技術力は高く評価されています。今後は、同社の子会社化により、当社と同社の双方が有する商流を生かした海外展開をはじめ、シナジーを発揮した事業拡大を推進してまいります。

\*ターボブロワ:主に下水処理場等の排水処理設備において「ばっ気」装置として用いられる製品で、汚水内に空気を送り込み、水質改善を促すことを目的に設置される装置。



▲ ターボマックス社が製造・販売する「TurboMAX®」



## 航空機

Aircraft

- 防衛省向けは増収。
- 民需関連は、ボーイング社「777」向け翼胴フェアリング、「787」向け主翼スパーの生産機数が減少。

### 売上高



### 営業損益



2022年  
3月期の  
見通し

ボーイング社向け製品の生産機数減少が影響し、減収減益を見込む。



## 特装車

Special Purpose Truck

- 高水準の需要が続いた結果、売上高および営業利益、いずれも前期並みの水準に。

### 売上高



### 営業利益



2022年  
3月期の  
見通し

売上高は若干増収を見込むも、鋼材価格の上昇などにより、減益を見込む。



## 産機・環境システム

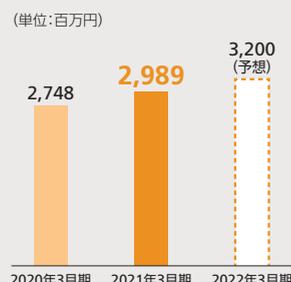
Industrial Machinery and Environmental systems

- 自動車産業向けを主とするメカトロニクス製品で減収となるも、他は増収。利益は前期を上回る水準に。

### 売上高



### 営業利益



2022年  
3月期の  
見通し

流体製品のM&A効果や、メカトロニクス製品の市場回復を背景に、増収増益を見込む。



## パーキングシステム

Parking systems

- 機械式駐車設備、航空旅客搭乗橋ともに減収となるも、利益は前期並みの水準を維持。

### 売上高



### 営業利益



2022年  
3月期の  
見通し

機械式駐車設備、航空旅客搭乗橋ともに増収を見込むも、運営費の増加により減益を見込む。

## 会社概要 / (2021年3月31日現在)

商号	新明和工業株式会社
設立年月日	1949年11月5日
資本金	15,981,967,991円
従業員数	3,096名
連結従業員数	5,400名

## 役員 / (2021年6月24日現在)

役職名	氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
代表取締役 取締役社長	五十川 龍之	取締役	苅田 祥史 ※1	常務執行役員	榎原 敬士
取締役	石丸 寛二	取締役	秀島 信也 ※1	常務執行役員	浅野 隆弘
取締役 専務執行役員	田沼 勝之	取締役	長井 聖子 ※1	常務執行役員	中野 恭介
取締役 専務執行役員	伊丹 淳	監査役	西田 幸司	常務執行役員	田中 克夫
取締役 専務執行役員	西岡 彰	監査役	島坂 忠宏	常務執行役員	小田 浩一
取締役 専務執行役員	久米 俊樹	監査役	金田 友三郎 ※2	執行役員	深井 浩司
		監査役	枚山 栄理 ※2	執行役員	井田 政宏
		監査役	木村 文彦 ※2	執行役員	長尾 嘉雅
				執行役員	中瀬 聡
				執行役員	新居 崇
				執行役員	石原 秀朝

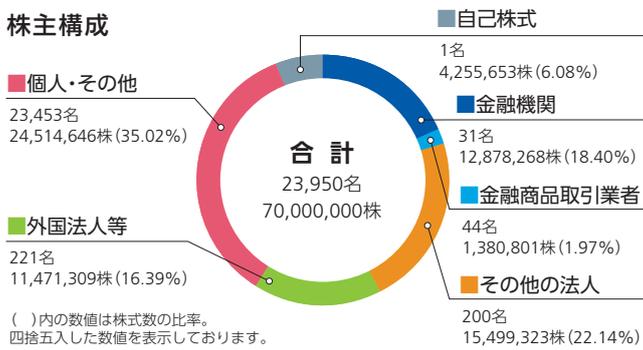
〔※1〕は社外取締役、〔※2〕は社外監査役を示しています。

## 株式情報 / (2021年3月31日現在)

### 株式の状況

発行可能株式総数	300,000,000株
発行済株式の総数	70,000,000株
単元株式数	100株
株主数	23,950名

### 株主構成



### 大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
三信株式会社	9,081,065	13.81
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,162,000	6.33
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,678,900	4.07
新明和グループ従業員持株会	2,538,236	3.86
住友不動産株式会社	1,507,500	2.29
東洋ビルメンテナンス株式会社	1,391,300	2.11
JP MORGAN CHASE BANK 385781	844,970	1.28
株式会社日本カストディ銀行(信託口5)	831,300	1.26
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	795,300	1.20
株式会社日本カストディ銀行(信託口6)	763,800	1.16

(注) 持株比率は、自己株式数(4,255,653株)を控除して計算するとともに、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

## 株主メモ /

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人/特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="https://www.shinmaywa.co.jp/">https://www.shinmaywa.co.jp/</a> (ただし、やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。)

## 各種手続きについて /

### ○証券会社等に口座をお持ちの方

口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。なお、以下のお手続き等につきましては、下欄の株主名簿管理人にお問い合わせください。

- 郵送物等の発送と返戻に関するご照会
- 支払期間経過後の配当金に関するご照会
- 株式事務に関する一般的なお問い合わせ

### ○特別口座に口座をお持ちの方

下欄の株主名簿管理人/特別口座管理機関にお問い合わせください。

### 株主名簿管理人/特別口座管理機関

〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
TEL 0120-094-777 (通話料無料)

## 配当金

2021年3月期の1株当たり年間配当金は、中間配当の19円と合わせて、38円(連結配当性向:45.5%)となりました。

なお、2022年3月期の年間配当金(予想)につきましては、前期と同額の38円(連結配当性向:45.4%)を予定しております。

## 株主の皆さまの声を聞かせください

当社では、株主の皆さまの声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<https://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード 7224

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2カ月間です。

ご回答いただいた方の中から  
抽選で薄謝(図書カード500円)  
を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。  
(株式会社 a2media)についての詳細<https://www.a2media.co.jp>  
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ MAIL:info@e-kabunushi.com  
「e-株主リサーチ事務局」